投　信　概　況
（2026 年 10 月）

2026 年 11 月

ポートフォリオ・ソリューション部

藤原　崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2026 年 10 月）の GW 分類の大分類別資金動向、図表 3ａに GW 分類の大分類別の純資産総額シェア、図表 3ｂに当月の GW 分類の大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社推計値、その他の月は資産運用業協会の公表値を使用した。

～投信全体の純資産総額は 2 カ月連続減、純流入額は約 1.8 兆円と 5 カ月ぶりに 2 兆円台には届かず～

当月は、中東で米・イラン紛争の停戦協議が続く一方、米国では 11 月の中間選挙を控え、物価高や移民政策が主要な争点となった。国内では、自民、維新、国民民主の 3 党が衆院比例 31 議席削減で合意した。日米の金融政策は、日銀、FRB ともに政策金利を据え置いたが、日銀は基調的な物価上昇率が 2%に近づいているとの認識を示した。日経平均株価は AI 投資の収益性懸念から月間で 5.2%下落、S&P500 も 0.9%安となった。

このような中、当月末のファンド全体の純資産総額は前月末から 2,330 億円減の 208 兆 1,610 億円で、2 カ月連続での前月末比減となった。一方、当月の資金フローは 3 年 5 カ月連続の純流入となり、純流入額は 1 兆 7,761 億円、純流入額 1 兆円超は昨年 9 月より 1 年 2 カ月連続となったが、5 か月ぶりに 2 兆円台には届かなかった。

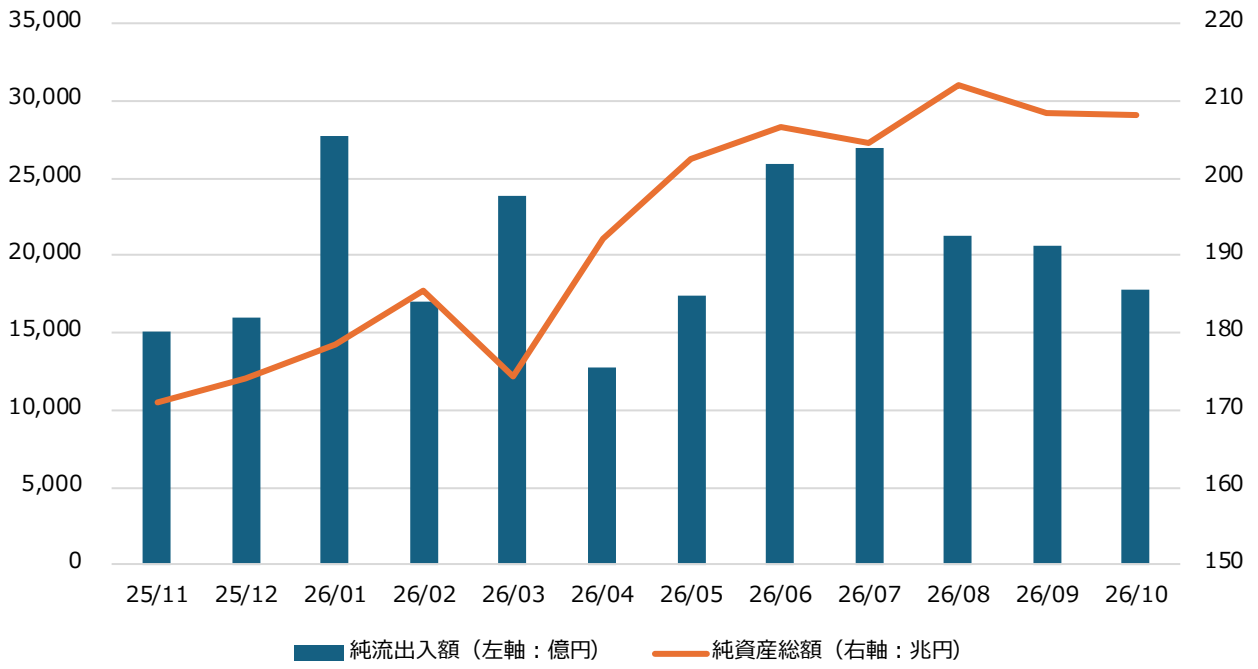
資金動向を GW 分類[1]の大分類別に純資産総額の推移でみると、当月は、「国内株式」が前月末から 8,180 億円減の 27 兆 8,111 億円、同じく「コモディティ」が 1,184 億円減の 3 兆 4,729 億円であった。一方、「グローバル株式（ヘッジなし）」の純資産総額は 4,074 億円増の 122 兆 6,028 億円となった。

純流出入額は「グローバル株式（ヘッジなし）」が 5 年 4 カ月連続の純流入となるなど、資金流入が続いており、当月の純流入額は 1 兆 1,998 億円と 11 カ月連続の 1 兆円台であった。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集計では、インデックスファンドへ 8,689 億円の純流入と、当該分類内で高水準の流入を継続している。また、日本を含むグローバル株式に投資するアクティブファンドも 2,407 億円の純流入があった。

個別ファンドの純流入額ランキングをみると、「ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ 全世界株式（オール・カントリー）」に 2,777 億円、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」に 2,093 億円、「ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ 米国株式（Ｓ＆Ｐ５００）」に 1,613 億円の純流入などとなっている。

[1] SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

図表１　純資産総額と純流出入額の直近１年間の推移（月末基準）



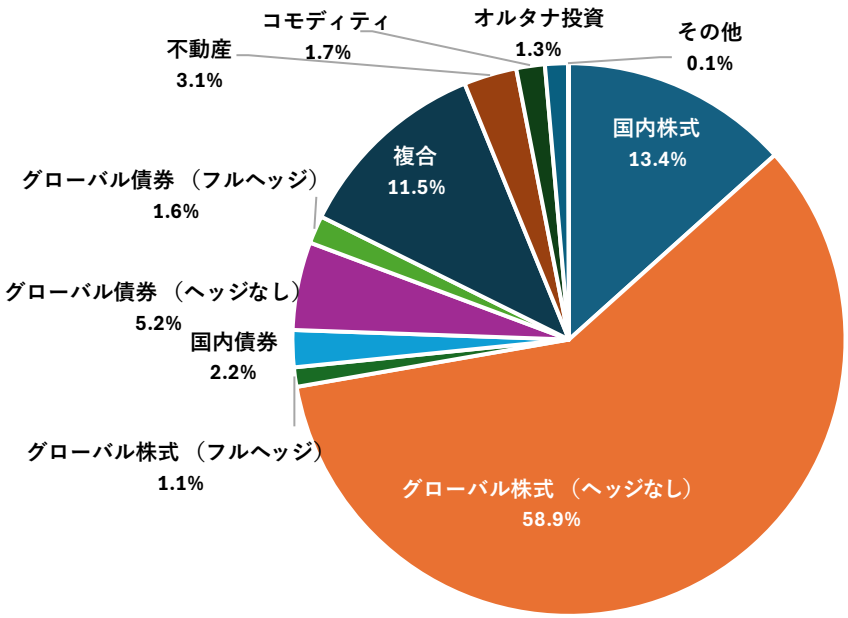
（出所）資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表２　2026 年 10 月の GW 分類　大分類別資金動向（億円）

GW分類　大分類	純資産総額				純流出入額
	26/09末	26/10末	増減額	増減率	26/10
国内株式	286,291	278,111	-8,180	-2.86%	2,895
グローバル株式　（ヘッジなし）	1,221,954	1,226,028	4,074	0.33%	11,998
グローバル株式　（フルヘッジ）	24,199	23,613	-586	-2.42%	-248
国内債券	43,310	44,982	1,672	3.86%	1,090
グローバル債券　（ヘッジなし）	106,037	107,226	1,189	1.12%	392
グローバル債券　（フルヘッジ）	33,604	33,913	310	0.92%	-16
複合	238,273	239,577	1,304	0.55%	1,335
不動産	64,464	64,437	-27	-0.04%	-18
コモディティ	35,913	34,729	-1,184	-3.30%	-21
オルタナ投資	28,685	27,844	-841	-2.93%	363
その他	1,209	1,149	-60	-4.99%	-9
合計	2,083,940	2,081,610	-2,330	-0.11%	17,761

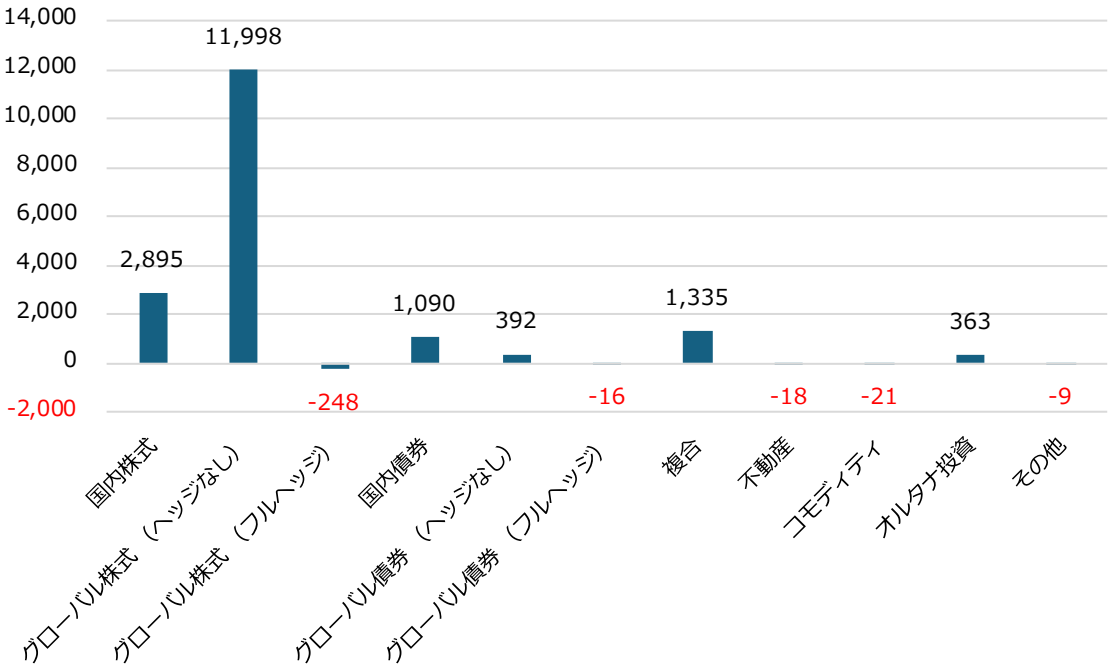
（出所）資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表３a　GW 分類　大分類別の純資産総額シェア（2026 年 10 月末基準）



（出所）資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

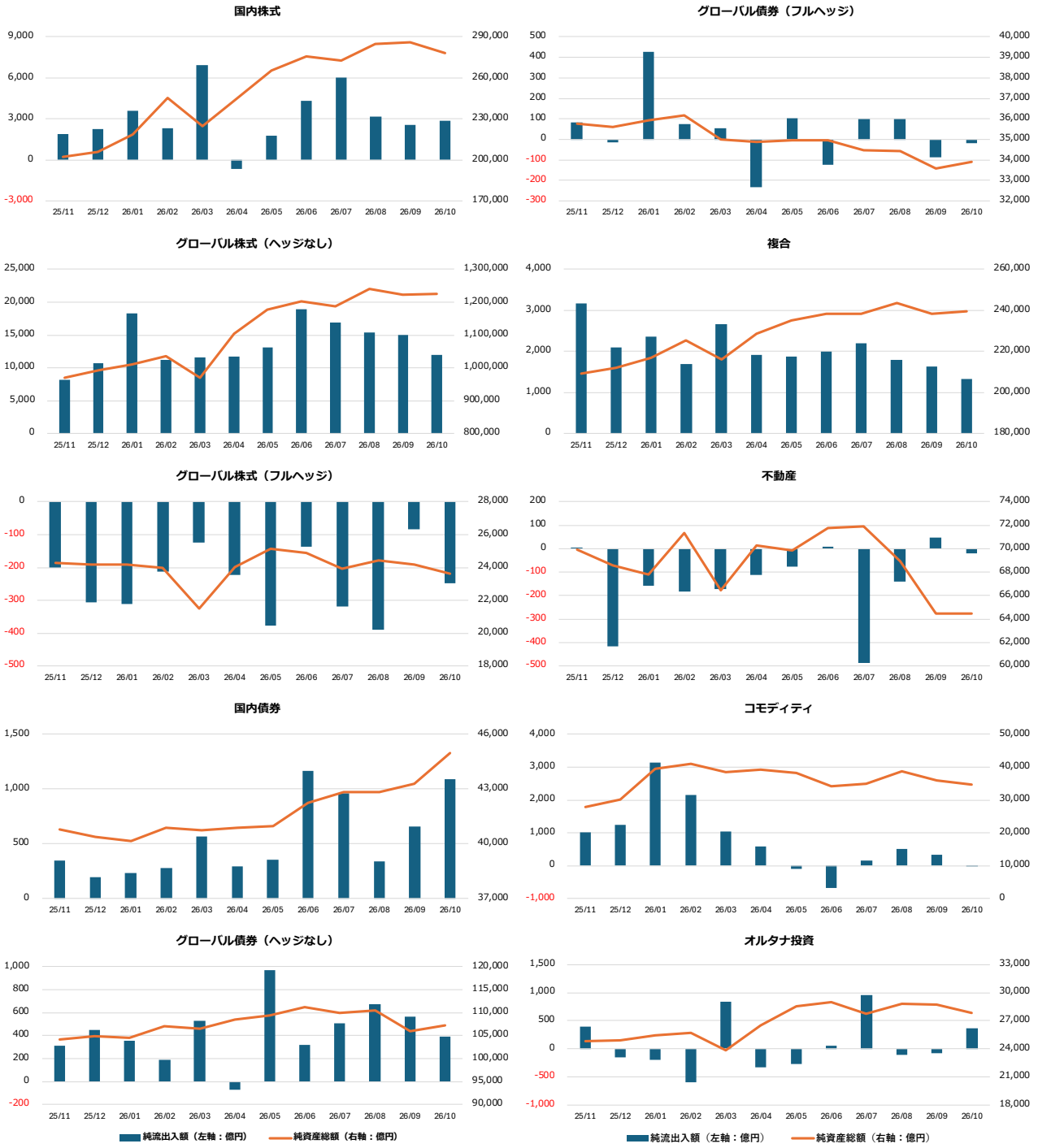
図表３b　2026 年 10 月の GW 分類　大分類別純流出入額（億円）



（出所）資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

Appendix

図表Ⅰ　GW 分類　大分類別の純資産総額と純流出入額の直近１年間の推移（月末基準、億円）



（出所）資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表Ⅱ　2026 年 10 月の純流入ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額（億円）	純流出入額（億円）	NISA つみたて	NISA 成長
1	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　全世界株式（オール・カントリー）	三菱ＵＦＪアセット	141,278	2,777	○	○
2	インベスコ　世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	44,969	2,093		
3	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　米国株式（Ｓ＆Ｐ５００）	三菱ＵＦＪアセット	131,574	1,613	○	○
4	日興ＦＷ・日本債券ファンド	三井住友ＤＳ	8,070	921		
5	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド　Ｄコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	13,604	803		
6	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	三菱ＵＦＪアセット	5,514	381		○
7	ｉＦｒｅｅＮＥＸＴ　ＦＡＮＧ＋インデックス	大和アセット	14,093	342	○	○
8	楽天・プラス・オールカントリー株式インデックス・ファンド	楽天	10,650	339	○	○
9	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　国内株式（ＴＯＰＩＸ）	三菱ＵＦＪアセット	8,385	274	○	○
10	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　国内株式（日経平均）	三菱ＵＦＪアセット	5,526	262	○	○

（出所）資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

図表Ⅲ　2026 年 10 月の純流出ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額（億円）	純流出入額（億円）	NISA つみたて	NISA 成長
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Ｄコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	アライアンス	27,622	-388		
2	グローバルＥＳＧハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットＯｎｅ	8,499	-183		○
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Ｂコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	17,373	-181		○
4	（ラップ専用）ＳＢＩ・先進国株式	ＳＢＩ	235	-162		
5	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジなし）	三井住友ＤＳ	5,666	-122		○
6	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	3,089	-97		○
7	ＳＭＢＣ円資産ファンド	三井住友ＤＳ	1,286	-89		○
8	グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	2,447	-76		○
9	野村インド株投資	野村アセット	3,231	-71		○
10	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	イーストスプリング	1,874	-64		○

（出所）資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

（END）

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社（以下「SGIC」といいます）が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指数等にかかる著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は https://www.smbc-gic.co.jp でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業にかかる留意事項】 SGIC は投資一任業務および投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資するおよび投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生ずるおそれがあります。
変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、および外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。
投資顧問契約および投資一任契約に対する報酬（投資顧問報酬）は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%（税込）の基本報酬に加え、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。
投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

商号等　SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 449 号
加入協会　　一般社団法人　資産運用業協会